

仕事の点検作業結果一覧

(単位:千円)

No.	事業名	担当課	仕事の点検作業結果	平塚市判断結果	平塚市判断理由	効果額
1	平和意識普及・啓発事業	行政総務課	事業内容等の見直し	事業内容等の見直し	平和意識普及・啓発事業は、市民の皆さまに平和に対する関心と認識を深めていただくための事業であり、継続的に実施していく必要があるものと考えています。 今後とも、平和の大切さ・尊さへの理解を広めるために、より多くの方々に参加してもらおう工夫を行っていくとともに、参加者の少ない事業は実施についての見直しを進めます。	▲ 892
2	総合公園管理庶務事業 (湘南ひらつか大盆おどり)	みどり公園・水辺課	不要	不要	夏の行事として定着し、参加者も多く継続の希望があることから、市主体の開催から民間団体主催の行事への移行も含め、開催方法を検討しました。 しかし、市全体のイベントの見直しの考え方や、事業の優先順位を勘案した中で廃止することとしました。	▲ 3,600
3	自主防災組織支援事業	防災危機管理課	事業内容等の見直し	事業内容等の見直し	地域の訓練等は、消防や防災ボランティア団体等と連携を図るとともに防災インストラクター制度を活用し、効果的かつ効率的に実施します。 また、資機材等の助成については、より地域の実情に合った整備が推進されるよう取り組みます。	▲ 4,899
4	心身障害者福祉手当支給事業	障がい福祉課	事業内容等の見直し	事業内容等の見直し	この制度は、生まれつきや若くして障がい者となり、就労の機会が限られ、所得が十分に得られない方への支援を安定的継続的に実施していくためのものです。 これまでの一律支給から、稼働収入により一定の資産形成ができていると思われる65歳以上の新規受給資格該当者を対象外とするように見直します。	▲ 4,968
5	市民文化啓発事業 (平塚市文化振興基金活用事業)	文化・交流課	不要	事業内容等の見直し	具体的な活用がされていなかった文化振興基金ですが、市民の善意の受け皿として、基金自体は今後も必要なものと考えています。 点検作業の結果や御意見を踏まえ、平成22年度までに運用体制の整備を行います。平成23年度からは、具体的に文化振興基金を事業に活用していきます。 今後は、基金の有効活用を通して、市民の創造的な文化活動を活発化し、市民文化の向上と振興を推進していきます。	0
6	ごみ収集運搬事業 (事業系ごみ(特定ごみ制度))	環境業務課	市以外が実施	市以外が実施	事業系ごみの収集については、現状、民間の許可事業者数の増と、サービスの充実に伴って、本市事業と競合状態となっています。 こうしたことから、平塚市としては平成21年度をもって当該事業を終了し、一般廃棄物収集許可業者に任せます。 なお、一般廃棄物収集許可業者の収集が困難な、極少量の住居兼事業所(者)を対象として新たな制度を設けます。	▲ 3,000
7	幼稚園運営補助事業 (私立幼稚園教材教具購入費及び健康管理費補助金事業)	学務課	不要	事業内容等の見直し	教材教具費については、私立幼稚園と公立幼稚園では保護者の負担に格差があります。この補助金は、保護者負担の軽減及び公立幼稚園との格差是正を目的とし、私立幼稚園を通じた保護者への間接補助です。 多数の意見をいただいた「一律支給」については、要綱改正時(平成23年3月末)に支給方法や支給額の見直しを行います。 将来的には、国の幼児教育無償化や経済状況の改善に合わせて削減や廃止を検討します。	0

No.	事業名	担当課	仕事の点検作業結果	平塚市判断結果	平塚市判断理由	効果額
8	広報紙発行事業	広報・情報政策課	現行どおり	現行どおり	<p>広報紙のタイムリー性を踏まえ、月2回の発行を月1回に減らすことで、総体的に発行コストを削減することも考えられます。しかし、月2回の発行は、情報を発信する側(市)からすれば、より時期に合った情報提供ができ、情報を受け取る側(市民)にとっても、より新鮮な情報を入手できることとなります。このようなことから、発行回数削減によるコスト削減を勧奨してもなお、月2回のメリットの方が高いと判断して、『現行どおり』としました。</p> <p>意見の中にありました他紙との広告費の比較については、調査をした結果、市内の地域情報紙と比較しても特に高いということはありませんでした。そのため、一枠あたりの掲載金額については変更しませんが、参加しやすい金額の広告枠の種類を増やす予定です。</p>	0
9	高齢者ふれあいバス事業	高齢福祉課	不要	不要	<p>この事業を創設した当初は、高齢者がバスカードを利用してレジャー等に出かけることを想定していました。しかし、ふれあいバスカード利用者アンケートの結果からも病院への通院に使われる割合が高く、本来の目的と現状の事業内容にずれが生じてきています。また、バスカードの交付率も年々低下しており、今年度は50%を下回る可能性も出てきております。</p> <p>今後は当初の目的達成のために、介護予防事業に力を入れていきたいと考えます。身近な公民館などを利用し、出かける場所の提供を推進することで、多くの高齢者にたくさん外出をしていただき、健康づくりや社会活動の参加のサポートをしていくサービスに切り替えていきます。</p> <p>これらのことを踏まえ、平成21年度をもって事業廃止とします。</p>	▲ 30,404
10	海洋少年団交流事業	青少年課	現行どおり	不要	<p>評価結果を念頭に当初は継続する考えでしたが、参加者数の大幅な伸びは見込めない状況であり、費用負担が大きくなることから、費用対効果や事業の優先順位を検討し、廃止することとしました。</p>	▲ 5,631
11	合併処理浄化槽普及促進事業	土木総務課	事業内容等の見直し	事業内容等の見直し	<p>公共下水道の整備が95%を超える状況において、今後、生活排水処理率を高めていくためには、既設単独処理浄化槽及びくみ取りから合併処理浄化槽への転換は重要であると判断します。</p> <p>また、限られた財源の中で補助金を有効に活用して転換を促進し、生活排水処理施設整備の100%を目指すことがこの事業の本質であります。</p> <p>このようなことから、『事業の見直し』が必要と判断し、新築、改築等建築確認が必要な場合に伴う合併処理浄化槽の設置については、平成21年度をもって補助金の交付を廃止します。</p> <p>平成22年度からは、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換に対する補助の拡充を図ります。</p>	▲ 2,478
12	新しい七夕まつり創出事業	商業観光課	現行どおり	現行どおり	<p>判断結果は『現行どおり』でしたが、次年度の第60回では全国七夕サミット等を開催する予定であり、その中で七夕まつりの将来の方向性を検討する予定です。</p> <p>また、第61回以降の開催も踏まえ、七夕飾りやパレード等の催物、ごみ対策などを含めて、七夕まつりのあり方について実行委員会で検討を重ねていくとともに、次年度から改善できるものから順次取り組んでいく考えです。</p>	0
13	建築確認事業 (専用住宅等の中間検査制度)	建築指導課	不要	不要	<p>建築基準法の規定により、本市が独自に定めている一戸建住宅等の新築に係る中間検査は、平成21年10月1日施行の住宅瑕疵担保履行法による住宅瑕疵担保責任保険法人の現場検査と重複し、本市の中間検査を廃止しても建築物の安全確保に支障ないと考えます。</p> <p>こうしたことを踏まえ、平成21年度をもって事業を終了する予定です。</p>	0
14	地区公民館事業 (市民体育レクリエーション)	社会教育課 (中央公民館)	現行どおり	現行どおり	<p>この事業は、地域住民の健康増進を図り、連帯感を高めるために開催しています。</p> <p>子どもから高齢者まで、地域の幅広い年代の住民が多数参加しており、世代間・地域住民間での交流や親睦につながっているだけでなく、地域の連携が希薄になりがちな今日において、地域コミュニティの形成に有効に働いています。</p> <p>今後は、より多くの参加者が得られるような工夫をしていきます。</p>	▲ 220

計 ▲ 56,092